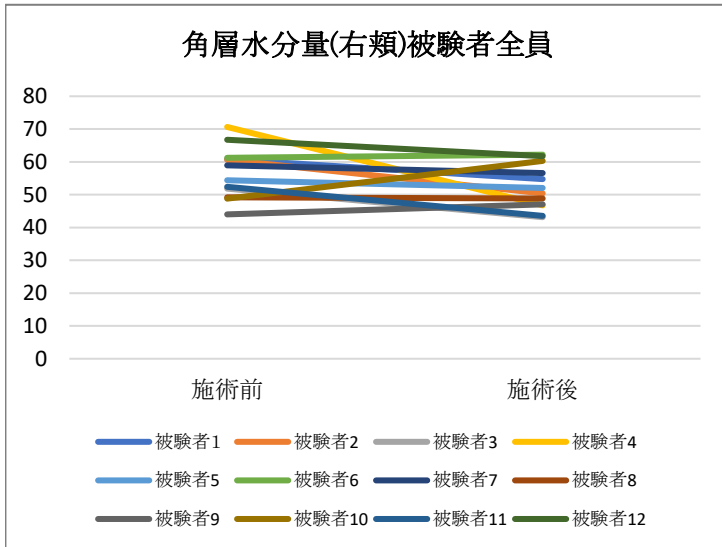


フェイシャルスキンケアの皮膚に対する影響試験 角層水分量(右頬)



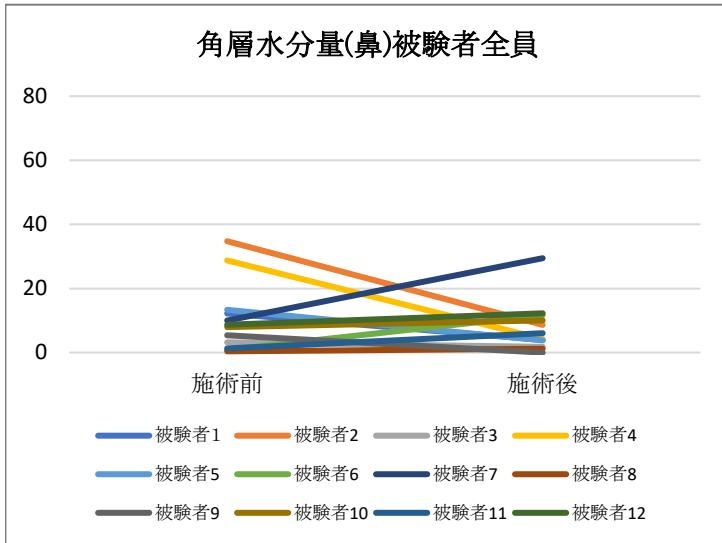
角・右頬	施術前(A)	施術後(B)	(A)-(B)
被験者1	60.8	54.75	6.05
被験者2	60.65	50.4	10.25
被験者3	51.85	43.15	8.7
被験者4	70.65	46.75	23.9
被験者5	54.4	52.05	2.35
被験者6	61.25	62.2	-0.95
被験者7	58.95	56.6	2.35
被験者8	49.2	48.85	0.35
被験者9	44	47.05	-3.05
被験者10	48.8	60.3	-11.5
被験者11	52.4	43.55	8.85
被験者12	66.75	61.75	5

	平均値	n	標準偏差	標準誤差
施術前	56.641667	12	7.8681993	2.2713535
施術後	52.283333	12	6.8092629	1.9656649

	平均値	標準偏差	標準誤差	t値	自由度	p値(両側)
施術前-施術後	4.3583333	8.6211641	2.4887157	1.7512379	11	0.10770161

施術前の平均値と施術後の平均値の差が有意か確かめるために、有意水準5%で両側検定のt検定を行ったところ、 $t(11)=1.751$ 、 $p>0.05$ であり、施術前後の平均値の差は統計的に有意な差は認められなかった。

フェイシャルスキンケアの皮膚に対する影響試験 角層水分量(鼻)



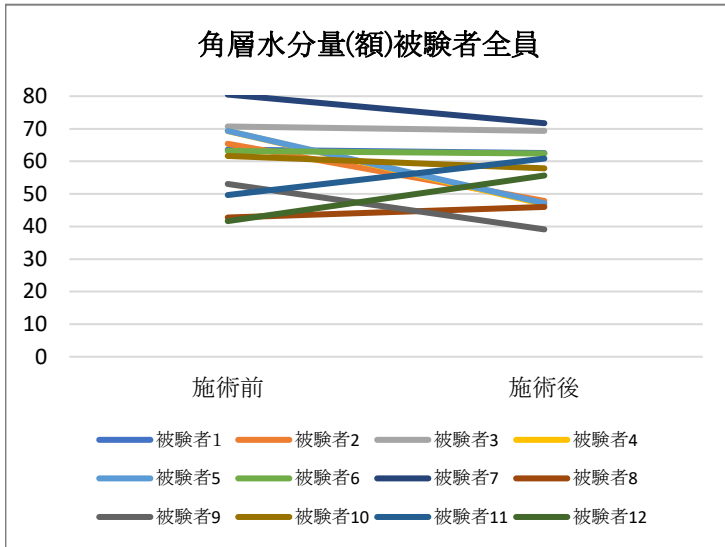
角・鼻	施術前(A)	施術後(B)	(A)-(B)
被験者1	12.2	3.95	8.25
被験者2	34.75	8.65	26.1
被験者3	3.2	1.8	1.4
被験者4	28.75	4.25	24.5
被験者5	13.35	3.8	9.55
被験者6	0.85	11.7	-10.85
被験者7	10	29.45	-19.45
被験者8	0.4	1.2	-0.8
被験者9	5.4	0	5.4
被験者10	7.95	10.05	-2.1
被験者11	1.3	6.05	-4.75
被験者12	8.7	12.25	-3.55

	平均値	n	標準偏差	標準誤差
施術前	10.570833	12	10.875921	3.139608
施術後	7.7625	12	7.9566474	2.2968863

	平均値	標準偏差	標準誤差	t値	自由度	p値(両側)
施術前-施術後	2.8083333	13.18899	3.8073336	0.7376116	11	0.47619106

施術前の平均値と施術後の平均値の差が有意か確かめるために、有意水準5%で両側検定のt検定を行ったところ、 $t(11)=0.738$ 、 $p>0.05$ であり、施術前後の平均値の差は統計的に有意な差は認められなかった。

フェイシャルスキンケアの皮膚に対する影響試験 角層水分量(額)



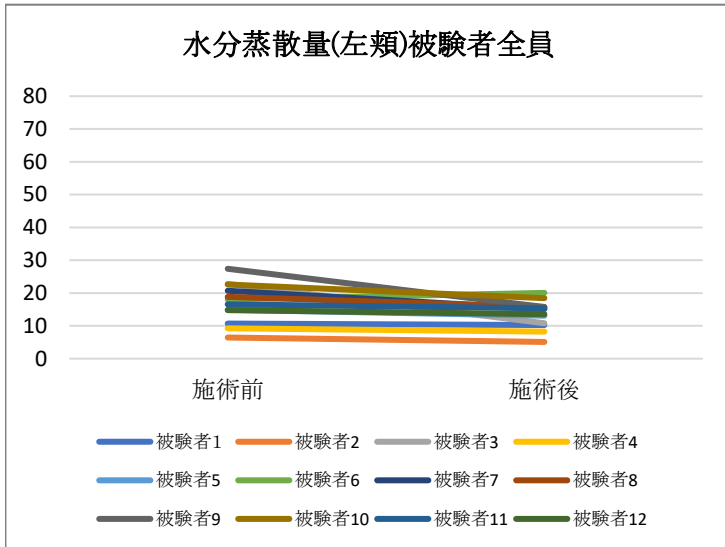
角・額	施術前(A)	施術後(B)	(A)-(B)
被験者1	63.6	62.55	1.05
被験者2	65.4	47.85	17.55
被験者3	70.7	69.35	1.35
被験者4	69.3	46.8	22.5
被験者5	69.35	47.15	22.2
被験者6	63.2	62.4	0.8
被験者7	80.5	71.7	8.8
被験者8	42.75	46	-3.25
被験者9	53.05	39.1	13.95
被験者10	61.65	57.85	3.8
被験者11	49.65	60.85	-11.2
被験者12	41.65	55.65	-14

	平均値	n	標準偏差	標準誤差
施術前	60.9	12	11.846461	3.4197787
施術後	55.604167	12	10.219221	2.950035

	平均値	標準偏差	標準誤差	t値	自由度	p値(両側)
施術前-施術後	5.2958333	12.032503	3.4734843	1.5246458	11	0.15556915

施術前の平均値と施術後の平均値の差が有意か確かめるために、有意水準5%で両側検定のt検定を行ったところ、 $t(11)=1.525$ 、 $p>0.05$ であり、施術前後の平均値の差は統計的に有意な差は認められなかった。

フェイシャルスキンケアの皮膚に対する影響試験 水分蒸散量(左頬)



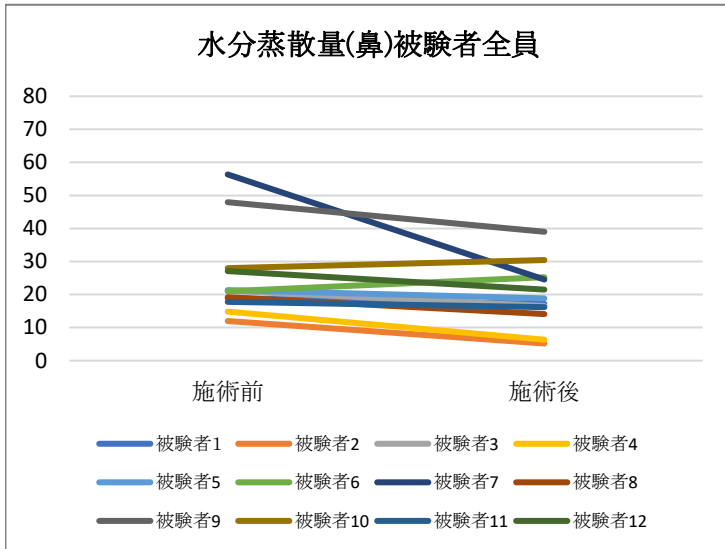
水・左頬	施術前(A)	施術後(B)	(A)-(B)
被験者1	10.7	10.25	0.45
被験者2	6.45	5.1	1.35
被験者3	22.8	10.8	12
被験者4	9.25	8.25	1
被験者5	14.9	13.1	1.8
被験者6	18.05	20.05	-2
被験者7	20.7	15.15	5.55
被験者8	18.85	15.75	3.1
被験者9	27.4	15.75	11.65
被験者10	22.6	18.45	4.15
被験者11	16.55	15.35	1.2
被験者12	14.8	13.55	1.25

	平均値	n	標準偏差	標準誤差
施術前	16.920833	12	6.1185804	1.766282
施術後	13.4625	12	4.2618351	1.2302858

	平均値	標準偏差	標準誤差	t値	自由度	p値(両側)
施術前-施術後	3.4583333	4.3390842	1.2525857	2.7609554	11	0.0185242

施術前の平均値と施術後の平均値の差が有意か確かめるために、有意水準5%で両側検定のt検定を行ったところ、 $t(11)=2.761$ 、 $p<0.05$ であり、施術前後の平均値の差は有意であることが分かった。

フェイシャルスキンケアの皮膚に対する影響試験 水分蒸散量(鼻)



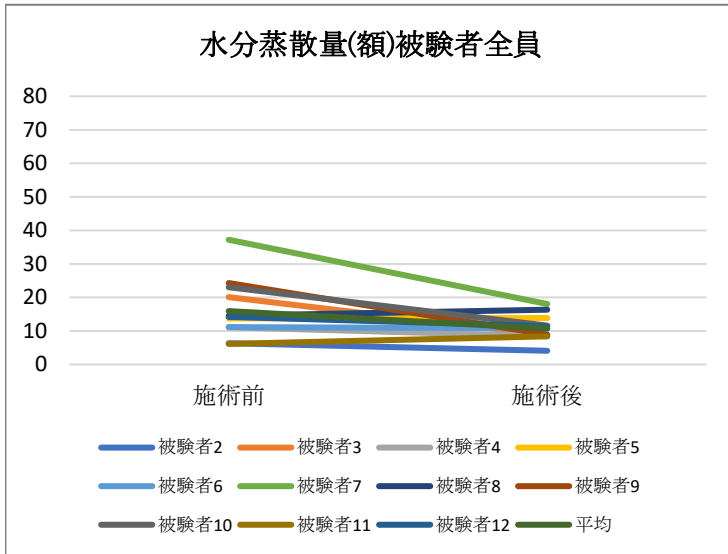
水・鼻	施術前(A)	施術後(B)	(A)-(B)
被験者1	18.9	17.2	1.7
被験者2	12	5.2	6.8
被験者3	21.15	16.55	4.6
被験者4	14.85	6.35	8.5
被験者5	21.35	18.85	2.5
被験者6	21	25.25	-4.25
被験者7	56.35	24.55	31.8
被験者8	19.2	14.1	5.1
被験者9	47.95	39	8.95
被験者10	28	30.45	-2.45
被験者11	17.8	16.2	1.6
被験者12	27.1	21.5	5.6

	平均値	n	標準偏差	標準誤差
施術前	25.470833	12	13.345521	2.2713535
施術後	19.6	12	9.50825	1.9656649

	平均値	標準偏差	標準誤差	t値	自由度	p値(両側)
施術前-施術後	5.8708333	9.0980882	2.6263918	2.2353227	11	0.04708546

施術前の平均値と施術後の平均値の差が有意か確かめるために、有意水準5%で両側検定のt検定を行ったところ、 $t(11)=2.626$ 、 $p<0.05$ であり、施術前後の平均値の差は有意であることが分かった。

フェイシャルスキンケアの皮膚に対する影響試験 水分蒸散量(額)



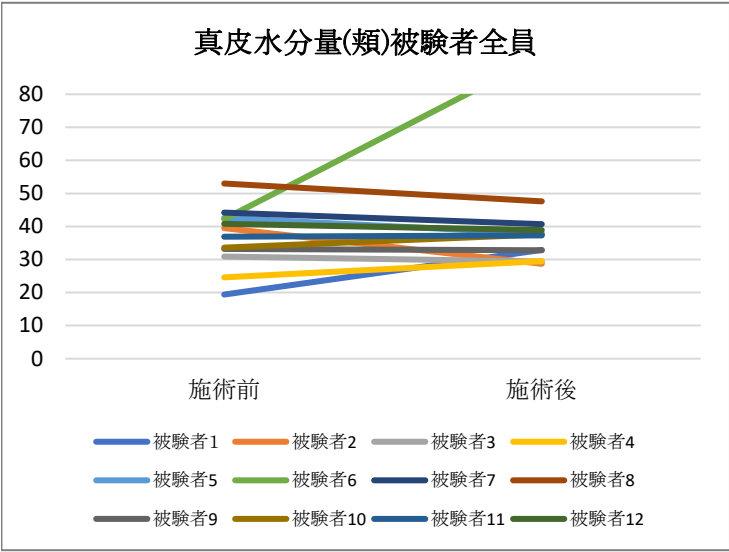
水・額	施術前(A)	施術後(B)	(A)-(B)
被験者1	9.3	7.85	1.45
被験者2	6.35	4.1	2.25
被験者3	20.1	8.8	11.3
被験者4	11.1	8.45	2.65
被験者5	13.75	13.85	-0.1
被験者6	11.15	10.8	0.35
被験者7	37.2	18.05	19.15
被験者8	14.55	16.35	-1.8
被験者9	24.3	8.9	15.4
被験者10	23.05	11.6	11.45
被験者11	6.15	8.4	-2.25
被験者12	14.2	11.45	2.75

	平均値	n	標準偏差	標準誤差
施術前	15.933333	12	8.9328895	2.5787031
施術後	10.716667	12	3.8862422	1.1218615

	平均値	標準偏差	標準誤差	t値	自由度	p値(両側)
施術前-施術後	5.2166667	7.175062	2.071262	2.5185933	11	0.02854685

施術前の平均値と施術後の平均値の差が有意か確かめるために、有意水準5%で両側検定のt検定を行ったところ、 $t(11)=2.519$ 、 $p<0.05$ であり、施術前後の平均値の差は有意であることが分かった。

フェイシャルスキンケアの皮膚に対する影響試験 真皮水分量(頬)



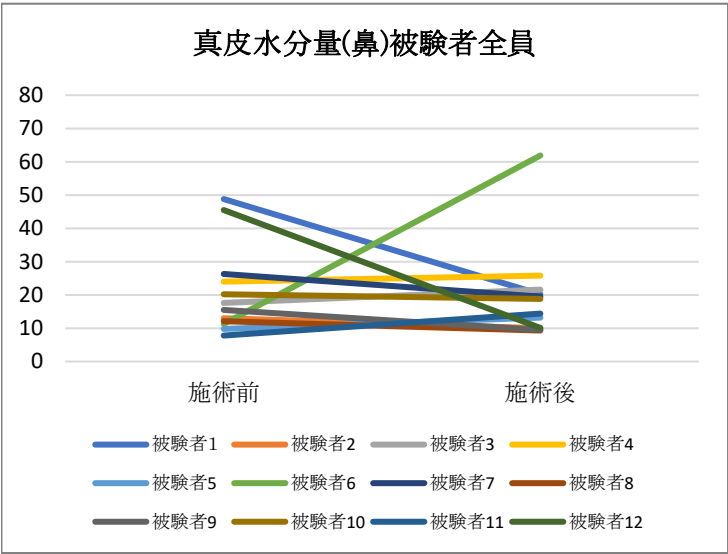
真・頬	施術前(A)	施術後(B)	(A)-(B)
被験者1	19.4	32.9	-13.5
被験者2	39.5	28.7	10.8
被験者3	30.9	29.4	1.5
被験者4	24.6	29.5	-4.9
被験者5	42.6	37.8	4.8
被験者6	42.2	91.7	-49.5
被験者7	44.2	40.7	3.5
被験者8	53	47.6	5.4
被験者9	33.2	32.8	0.4
被験者10	33.6	37.6	-4
被験者11	36.9	37.3	-0.4
被験者12	40.8	38.9	1.9

	平均値	n	標準偏差	標準誤差
施術前	36.741667	12	9.1097808	2.6297672
施術後	40.408333	12	17.05816	4.9242667

	平均値	標準偏差	標準誤差	t値	自由度	p値(両側)
施術前-施術後	-3.666667	15.662482	4.521369	-0.810964	11	0.43458233

施術前の平均値と施術後の平均値の差が有意か確かめるために、有意水準5%で両側検定のt検定を行ったところ、 $t(11)=-0.811$ 、 $p>0.05$ であり、施術前後の平均値の差は統計的に有意な差は認められなかった。

フェイシャルスキンケアの皮膚に対する影響試験 真皮水分量(鼻)



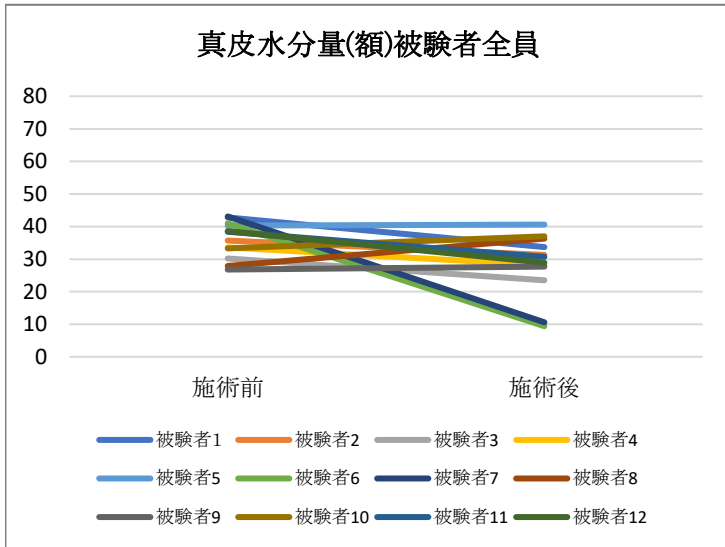
真・鼻	施術前(A)	施術後(B)	(A)-(B)
被験者1	48.8	20.2	28.6
被験者2	13	10	3
被験者3	17.6	21.6	-4
被験者4	24	25.8	-1.8
被験者5	9.8	13.2	-3.4
被験者6	11.3	61.9	-50.6
被験者7	26.3	19.5	6.8
被験者8	12.1	9.3	2.8
被験者9	15.5	9.5	6
被験者10	20.2	18.8	1.4
被験者11	7.8	14.4	-6.6
被験者12	45.5	10.1	35.4

	平均値	n	標準偏差	標準誤差
施術前	20.991667	12	13.448924	3.88237
施術後	19.525	12	14.432232	4.1662265

	平均値	標準偏差	標準誤差	t値	自由度	p値(両側)
施術前-施術後	1.4666667	20.84808	6.0183222	0.2437003	11	0.81194828

施術前の平均値と施術後の平均値の差が有意か確かめるために、有意水準5%で両側検定のt検定を行ったところ、 $t(11)=0.2437$ 、 $p>0.05$ であり、施術前後の平均値の差は統計的に有意な差は認められなかった。

フェイシャルスキンケアの皮膚に対する影響試験 真皮水分量(額)



真・額	施術前(A)	施術後(B)	(A)-(B)
被験者1	42.8	33.7	9.1
被験者2	35.7	31.3	4.4
被験者3	30.2	23.5	6.7
被験者4	33.6	28.1	5.5
被験者5	40.3	40.6	-0.3
被験者6	41	9.4	31.6
被験者7	43.1	10.6	32.5
被験者8	27.9	36.3	-8.4
被験者9	26.8	27.7	-0.9
被験者10	33.3	37	-3.7
被験者11	38.4	30.7	7.7
被験者12	38.6	28.9	9.7

	平均値	n	標準偏差	標準誤差
施術前	35.975	12	5.6382017	1.6276086
施術後	28.15	12	9.6715609	2.7919392

	平均値	標準偏差	標準誤差	t値	自由度	p値(両側)
施術前-施術後	7.825	12.562146	3.626379	2.1577998	11	0.05391036

施術前の平均値と施術後の平均値の差が有意か確かめるために、有意水準5%で両側検定のt検定を行ったところ、 $t(11)=2.158$ 、 $p>0.05$ であり、施術前後の平均値の差は統計的に有意な差は認められなかった。